

## 営業の概況 (ほくほくフィナンシャルグループ)

当社における当中間期の業績につきましては、連結経常収益は1,257億円、連結経常利益は327億円、連結中間純利益は164億円となりました。連結自己資本比率は9.97%となりました。

### ほくほくフィナンシャルグループ(連結) 経営指標の推移

(単位:百万円)

	平成17年9月期	平成18年9月期	平成19年9月期	平成18年3月期	平成19年3月期
連結経常収益	121,149	117,549	125,723	240,986	242,268
連結経常利益	10,932	28,228	32,750	48,285	70,017
連結中間(当期)純利益	5,833	15,135	16,464	26,837	40,642
連結純資産額	382,959	416,352	449,034	406,014	492,348
連結総資産額	9,429,623	9,450,217	9,531,724	9,535,627	9,638,142
1株当たり純資産額	161.49円	187.05円	221.76円	179.37円	227.57円
1株当たり中間(当期)純利益	3.25円	10.49円	10.85円	18.31円	27.93円
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	2.85円	8.73円	9.93円	14.32円	23.05円
連結自己資本比率(第二基準)	8.78%	9.23%	9.97%	9.00%	10.44%

## 営業の概況 (2行合算+分割子会社)

### ■ 預貸金

預金につきましては、個人預金の増加を主因に、前中間期末比1,563億円増加し、8兆4,390億円となりました。

貸出金につきましても、住宅系ローンを中心に個人ローンが順調に推移し、前中間期末比1,950億円増加し、6兆8,950億円となりました。

### ■ 損益状況

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、投資信託手数料を中心に役務取引等利益が増加したものの、預金金利の上昇が先行していることから資金利益が減少し、経費が増加したことから、前中間期比9億円減少し、454億円となりました。

与信費用は、企業業績の回復基調を受け、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進み債務者区分が上昇したこと等により、前中間期比39億円減少し128億円となりました。

この結果、経常利益は前中間期比33億円増加し320億円、中間純利益は前中間期比3億円増加し162億円となりました。

### ■ 配当政策

当社は、銀行等グループ企業の事業の公共性に鑑み、業績を勘案しつつ、公的資金の返済を展望し、経営体質の改善・強化のため内部留保の蓄積にも意を用い、安定的な配当を行うことを基本方針としております。平成19年8月に公的資金を一部返済しましたが、早期完済を目指し内部留保の充実に努めてまいります。

配当につきましては、平成19年5月の業績予想でお示ししましたとおり、普通株式につきましては、中間配当は見送りとさせていただきます。期末配当は昨年より50銭増配し、1株当たり2円50銭を予定しております。第1回第1種優先株式は1株当たり3円85銭、第1回第4種優先株式は1株当たり3円31銭、第1回第5種優先株式は1株当たり7円50銭と所定の配当とさせていただきます。

## ■北陸銀行・北海道銀行(2行合算+分割子会社) 経営指標の推移

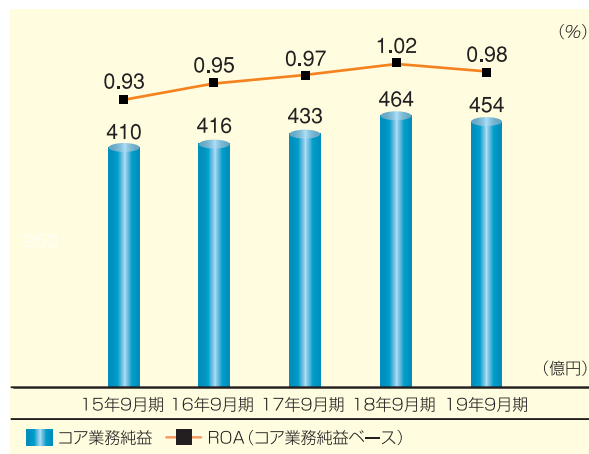
(単位:億円)

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	857	866	881	904	904
コア業務純益	410	416	433	464	454
経常利益	58	184	125	286	320
中間純利益	58	75	73	158	162

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

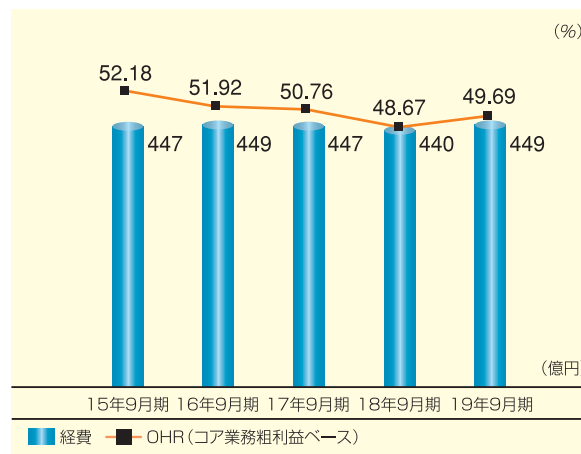
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

### ■コア業務純益の推移



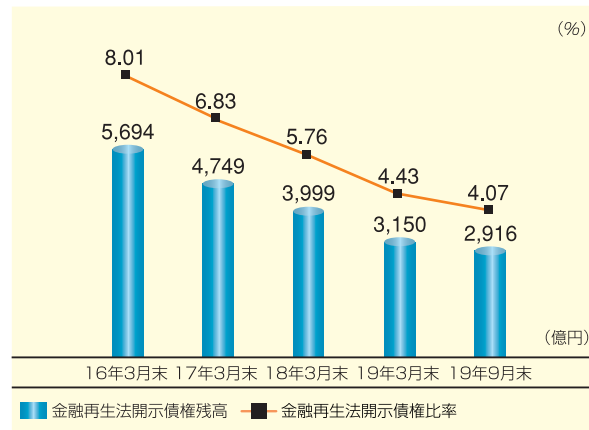
$$\text{※ROA (コア業務純益ベース)} = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$$

### ■経費の推移

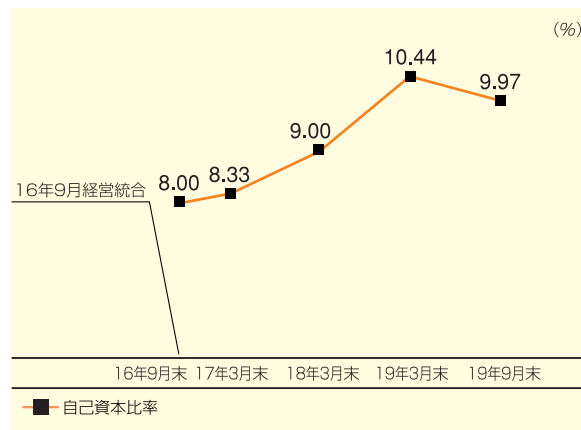


$$\text{※OHR (コア業務粗利益ベース)} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$$

### ■不良債権の状況



### ■自己資本比率の推移 (FG連結)



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(パーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

### ■経営合理化の進捗状況(4社合算ベース:持株会社+北陸銀行+北海道銀行+分割子会社)

店舗・人員配置や組織の見直しなど経営資源の効果的な配分と、業務のアウトソーシングや提携戦略の展開による合理化・効率化を進めてまいりました。

	16年3月末	17年3月末	18年3月末	19年3月末	19年9月末
国内支店数(注1)	255カ店	249カ店	247カ店	246カ店	246カ店
従業員数(注2)	4,832人	4,506人	4,294人	4,289人	4,340人
人件費(注3)	405億円	402億円	403億円	398億円	203億円
物件費	434億円	433億円	428億円	427億円	219億円
人件費+物件費	840億円	835億円	832億円	826億円	422億円

(注1) 出張所、外為集中店、ローン専用ダイレクト支店、払込専門支店、共同利用ATM管理専門支店を除く。

(注2) 事務職員、庶務職員合算。在籍出向者を含む。嘱託、パート、派遣社員は除く。

(注3) 持株会社から子銀行に支払う出向社員事務協力費を含む。

# 業績ハイライト

## 北陸銀行(十分割子会社)

コア業務純益は、投資信託手数料を中心とした役務取引等利益が増加し、システム投資等による経費増加を吸収したことから、前中間期と同水準の277億円となりました。

与信費用は、不良債権の新規発生の減少や事業再生支援への積極的な取り組みにより、前中間期比38億円減少し、88億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前中間期比27億円増加し189億円、中間純利益は、前中間期比7億円増加し、92億円となりました。

## 経営指標の推移

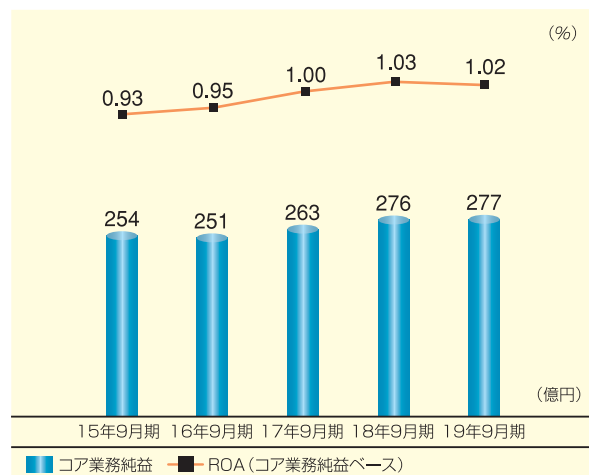
(単位:億円)

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	516	511	519	530	533
コア業務純益	254	251	263	276	277
経常利益	36	101	59	161	189
中間純利益	26	30	39	85	92

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

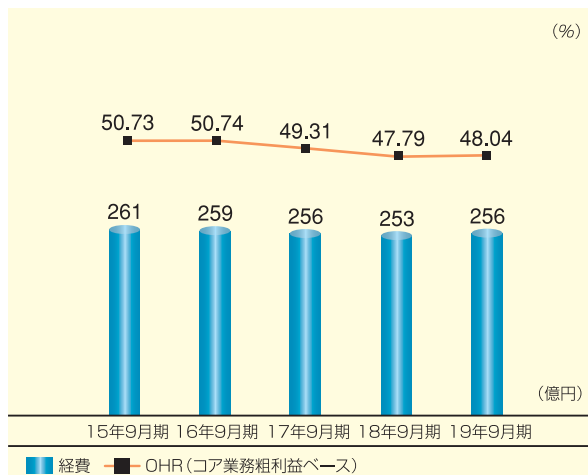
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

## コア業務純益の推移



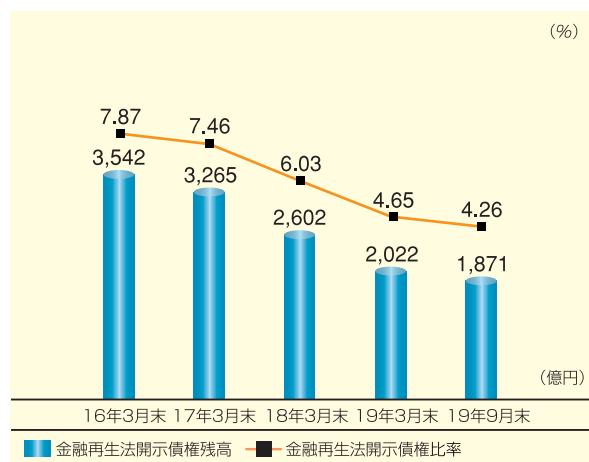
※ROA(コア業務純益ベース) =  $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残}-\text{支払承諾見返平残}}$

## 経費の推移

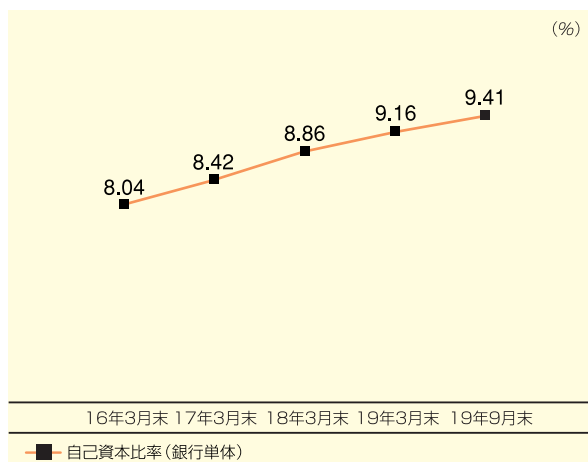


※OHR(コア業務粗利益ベース) =  $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

## 不良債権の状況



## 自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

## 北海道銀行

コア業務純益は、投資信託手数料を中心とした役務取引等利益が増加したものの、預金金利の上昇が先行していることに伴う資金利益の減少、システム投資等による経費の増加により、前中間期比9億円減少し、177億円となりました。

国債等債券関係損益は、前中間期比18億円増加の3億円となりました。また、与信費用は、前中間期と同水準の39億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前中間期比5億円増加し130億円、中間純利益は、前中間期比3億円減少し、69億円となりました。

### 経営指標の推移

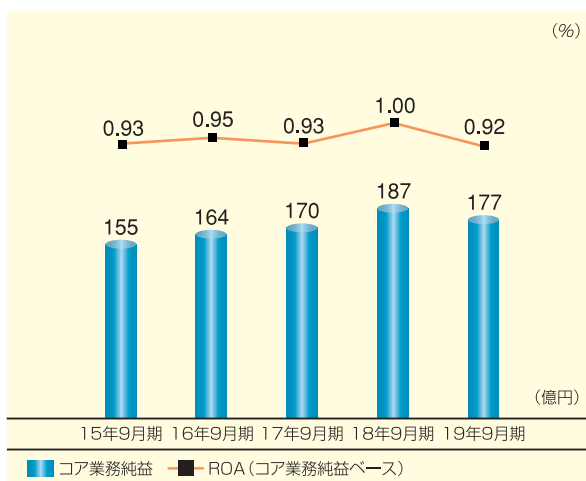
(単位:億円)

	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期
コア業務粗利益	341	354	361	373	370
コア業務純益	155	164	170	187	177
経常利益	22	82	66	125	130
中間純利益	32	45	33	73	69

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等

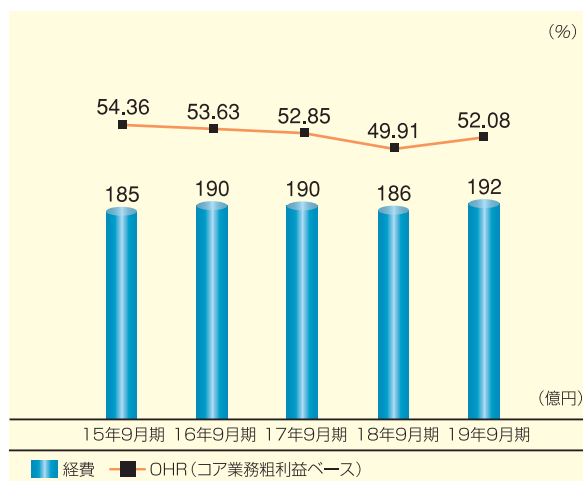
※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

### コア業務純益の推移



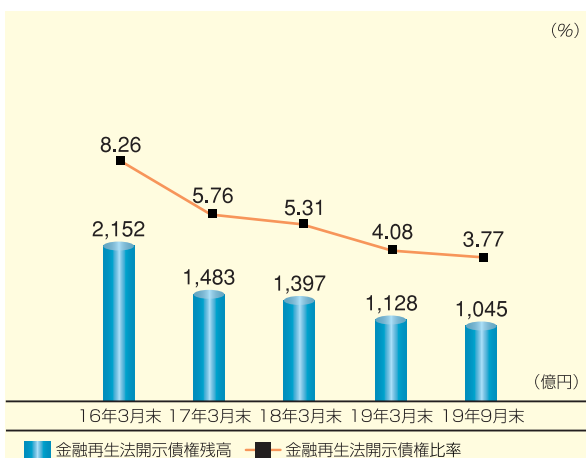
※ROA(コア業務純益ベース) =  $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

### 経費の推移

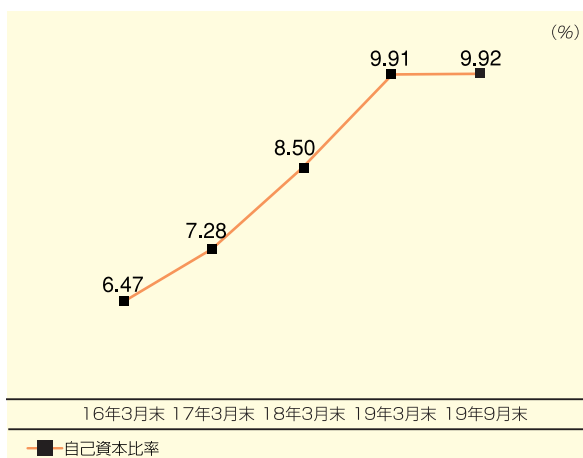


※OHR(コア業務粗利益ベース) =  $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

### 不良債権の状況



### 自己資本比率の推移



※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルII)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。